

水道事業会計

輪 島 市 水 道 事 業 会 計

1. 業務状況について

平成25年度の業務実績では、総配水量は3,296,760 m³で、前年度(3,447,922 m³)に比べ151,162 m³(4.38%)の減であり、年間総有効有収水量は2,982,547 m³で、前年度(3,026,328 m³)に比べ43,781 m³(1.45%)の減、有収率(配水量に対する有効有収水量の比率)は90.47%で、前年度(87.77%)に比べ2.7ポイント上昇している。

2. 予算決算について(税込み)

(1) 収益的収入及び支出

(単位：円・%)

科 目	収 入			科 目	支 出		
	予算額	決算額	収入率		予算額	決算額	執行率
水道事業収益	894,997,000	886,571,700	99.06	水道事業費用	1,003,606,000	897,578,336	89.44
営業収益	659,147,000	659,179,672	100.00	営業費用	831,241,000	732,775,555	88.15
営業外収益	227,492,000	226,098,028	99.39	営業外費用	168,365,000	164,802,781	97.88
特別利益	8,358,000	1,294,000	15.48	特別損失	3,000,000	0	-
				予備費	1,000,000	0	-

収益的収入は、予算額8億9,499万7千円に対して、決算額は8億8,657万2千円(収入率99.06%)となっている。

収益的支出は、予算額10億360万6千円に対して、決算額は8億9,757万8千円(執行率89.44%)となっている。

(2) 資本的収入及び支出

(単位：円・%)

科 目	収 入			科 目	支 出		
	予算額	決算額	収入率		予算額	決算額	執行率
資本的収入	194,982,000	296,574,179	152.10	資本的支出	669,558,750	629,883,314	94.07
企業債	42,500,000	73,400,000	172.71	建設改良費	281,120,750	248,411,675	88.36
負担金	98,689,000	99,108,129	100.42	企業債償還金	386,070,000	380,177,639	98.47
国庫支出金	19,320,000	49,013,000	253.69	国庫補助金返還金	2,368,000	1,294,000	54.65
補償金	20,173,000	46,253,050	229.28				
固定資産							
売却代金	0	0	-				
出資金	14,300,000	28,800,000	201.40				

(資本的収入額296,574,179円－資本的支出額629,883,314円＝△333,309,135円)

不足額3億3,330万9,135円は、過年度分損益勘定留保資金3億3,074万9,523円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額255万9,612円で補てんしている。

3. 損益計算について

総事業収益は8億5,463万3千円で、前年度に比べ846万9千円(0.98%)の減、総事業費用は8億6,784万3千円で、前年度に比べ374万4千円(0.43%)の減、収支差引1,321万円の純損失となり、前年度に比べ損失額が472万6千円(55.70%)の増加している。

(1) 収益の部

(単位：円・%)

科 目	平成25年度		平成24年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
営業収益	627,833,420	72.34	638,510,860	73.26	△ 10,677,440	△ 1.67
給水収益	525,099,839	60.51	535,263,084	61.41	△ 10,163,245	△ 1.90
受託工事収益	0	-	0	-	0	-
その他営業収益	1,924,310	0.22	2,904,362	0.33	△ 980,052	△ 33.74
簡易水道給水収益	100,647,935	11.60	99,928,180	11.47	719,755	0.72
簡易水道受託工事収益	0	-	0	-	0	-
簡易水道その他営業収益	161,336	0.02	415,234	0.05	△ 253,898	△ 61.15
営業外収益	225,505,918	25.98	224,591,882	25.77	914,036	0.41
受取利息及び配当金	832,107	0.10	725,037	0.08	107,070	14.77
他会計負担金及び補助金	125,641,111	14.48	129,664,886	14.88	△ 4,023,775	△ 3.10
加入金	11,386,150	1.31	4,162,766	0.48	7,223,384	173.52
諸収入	9,920	0.00	47,422	0.01	△ 37,502	△ 79.08
雑収益	34,020	0.00	286,475	0.03	△ 252,455	△ 88.12
簡易水道他会計負担金及び補助金	87,145,807	10.04	82,537,201	9.47	4,608,606	5.58
簡易水道加入金	456,240	0.05	5,655,239	0.65	△ 5,198,999	△ 91.93
簡易水道諸収入	0	-	0	-	0	-
簡易水道雑収益	563	0.00	1,512,856	0.17	△ 1,512,293	△ 99.96
特別利益	1,294,000	0.15	0	-	1,294,000	皆増
固定資産売却益	0	0	0	-	0	-
その他特別利益	1,294,000	0.15	0	-	1,294,000	皆増
収 益 計	854,633,338	98.48	863,102,742	99.03	△ 8,469,404	△ 0.98
当年度純損失	13,209,843	1.52	8,484,090	0.97	4,725,753	55.70
合 計	867,843,181	100.00	871,586,832	100.00	△ 3,743,651	△ 0.43

営業収益で6億2,783万3千円、営業外収益で2億2,550万6千円、特別利益で129万4千円となっている。

(2) 費用の部

(単位：円・%)

科 目	平成25年度		平成24年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
営業費用	725,132,900	83.56	721,875,960	82.82	3,256,940	0.45
原水及び浄水費	46,642,247	5.37	38,574,128	4.43	8,068,119	20.92
配水及び給水費	40,368,338	4.65	47,884,059	5.49	△ 7,515,721	△ 15.70
受託工事費	0	-	0	-	0	-
総係費	87,951,127	10.13	90,237,326	10.35	△ 2,286,199	△ 2.53
簡易水道原水及び浄水費	28,857,910	3.33	28,104,863	3.22	753,047	2.68
簡易水道配水及び給水費	11,289,904	1.30	9,267,107	1.06	2,022,797	21.83
簡易水道受託工事費	0	-	0	-	0	-
簡易水道総係費	10,641,294	1.23	10,179,282	1.17	462,012	4.54
減価償却費	356,134,344	41.04	364,962,929	41.87	△ 8,828,585	△ 2.42
簡易水道減価償却費	129,645,983	14.94	128,763,690	14.77	882,293	0.69
資産減耗費	4,138,998	0.48	504,080	0.06	3,634,918	721.10
簡易水道資産減耗費	9,462,755	1.09	3,398,496	0.39	6,064,259	178.44
その他営業費用	0	-	0	-	0	-
簡易水道その他営業費用	0	-	0	-	0	-
営業外費用	142,710,281	16.44	149,710,872	17.18	△ 7,000,591	△ 4.68
支払利息及び取扱諸費	99,652,281	11.48	104,710,028	12.01	△ 5,057,747	△ 4.83
簡易水道支払利息及び 取扱諸費	42,546,858	4.90	44,505,508	5.11	△ 1,958,650	△ 4.40
雑支出	323,441	0.04	320,140	0.04	3,301	1.03
簡易水道雑支出	187,701	0.02	175,196	0.02	12,505	7.14
特別損失	0	-	0	-	0	-
過年度損益修正損	0	-	0	-	0	-
その他特別損失	0	-	0	-	0	-
費用計	867,843,181	100.00	871,586,832	100.00	△ 3,743,651	△ 0.43
当年度純利益	0	-	0	-	0	-
合 計	867,843,181	100.00	871,586,832	100.00	△ 3,743,651	△ 0.43

営業費用で7億2,513万3千円、営業外費用で1億4,271万円となっている。

4. 貸借対照表について

(1) 資産の部

(単位：円・%)

科 目	平成25年度		平成24年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
固定資産	14,580,016,779	87.56	14,844,777,591	88.55	△ 264,760,812	△ 1.78
有形固定資産	13,991,062,657	84.02	14,250,466,210	85.01	△ 259,403,553	△ 1.82
無形固定資産	588,954,122	3.54	594,311,381	3.55	△ 5,357,259	△ 0.90
流動資産	2,072,338,218	12.44	1,919,254,796	11.45	153,083,422	7.98
現金預金	2,023,815,196	12.15	1,876,080,257	11.19	147,734,939	7.87
未収金	33,480,523	0.20	28,570,910	0.17	4,909,613	17.18
貯蔵品	15,042,499	0.09	14,603,629	0.09	438,870	3.01
前払金	0	-	0	-	0	-
その他流動資産	0	-	0	-	0	-
合 計	16,652,354,997	100.00	16,764,032,387	100.00	△ 111,677,390	△ 0.67

(2) 負債・資本の部

(単位：円・%)

科 目	平成25年度		平成24年度		前年度に対する増減	
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金 額	比 率
固定負債	22,394,917	0.13	26,694,917	0.16	△ 4,300,000	△ 16.11
引当金	22,394,917	0.13	26,694,917	0.16	△ 4,300,000	△ 16.11
流動負債	131,309,436	0.79	129,287,109	0.77	2,022,327	1.56
未払金	90,912,177	0.55	106,500,420	0.64	△ 15,588,243	△ 14.64
未払費用	0	0.00	172,956	0.00	△ 172,956	皆減
その他流動負債	40,397,259	0.24	22,613,733	0.13	17,783,526	78.64
資本金	9,509,885,187	57.11	9,780,069,178	58.34	△ 270,183,991	△ 2.76
自己資本金	3,263,220,882	19.60	3,226,627,234	19.25	36,593,648	1.13
借入資本金	6,246,664,305	37.51	6,553,441,944	39.09	△ 306,777,639	△ 4.68
剰余金	6,988,765,457	41.97	6,827,981,183	40.73	160,784,274	2.35
資本剰余金	7,951,118,918	47.75	7,777,124,801	46.39	173,994,117	2.24
利益剰余金	△ 962,353,461	△ 5.78	△ 949,143,618	△ 5.66	△ 13,209,843	1.39
合 計	16,652,354,997	100.00	16,764,032,387	100.00	△ 111,677,390	△ 0.67

総資産額は166億5,235万5千円で、固定資産145億8,001万7千円、流動資産20億7,233万8千円となっている。

有形固定資産139億9,106万3千円の内訳は、土地2億9,456万8千円、建物5億8,421万3千円、構築物112億5,517万8千円、機械及び装置18億2,532万6千円、車両及び運搬具1,174万1千円、工具器具及び備品1,733万7千円、建設仮勘定270万円となっている。

負債・資本総額は166億5,235万5千円で、固定負債で2,239万5千円、流動負債で1億3,130万9千円、資本金で95億988万5千円、剰余金で69億8,876万5千円となっている。

5. 経営分析

自己資本構成比率等について、最近3か年の推移を見ると、次のとおりである。

(単位：%)

項 目	平成25年度	平成24年度	平成23年度	説 明
自己資本構成比率	61.56	59.98	58.52	総資本に対する自己資本の占める割合を示すもので、比率が大きいほど安全性は大である。
流 動 比 率	1578.21	1,484.49	1,398.28	流動負債に対する流動資産の割合、すなわち企業の支払能力をみるもので、比率は200%以上大きいほど良好。
総収益対総費用比率	98.48	99.03	94.12	総費用に対する総収益の割合、すなわち企業の収支のバランスをみるもので、比率は100%以上大きいほど良好。
人件費対総費用比率	7.74	8.09	8.04	総費用に対する人件費の割合をみるもので、比率は小さいほど良好。
純利益対総収益比率	-	-	-	総収益のうち、最終的に企業に残されて純利益となっているものの割合を示すもので、比率は大きいほど良好。
企業債償還額 対 総 収 益 比 率	44.48	43.61	40.14	総収益に対する企業債償還額の割合をみるもので、比率は小さいほど良好。

むすび

以上が輪島市水道事業会計における平成 25 年度決算の概要である。

平成 25 年度における総配水量は 3,296,760 m³ で、前年度(3,447,922m³)に比べ 151,162m³ (4.38%)の減少となった。そのうち総有効有収水量は 2,982,547m³ で、前年度(3,026,328m³)に比べ 43,781m³ (1.45%)の減少となった。また、有収率については 90.47%となっており、前年度(87.77%)に比べ 2.70 ポイント上昇している。引きつづき管理体制強化を図り、有収率の向上に向け取り組まれない。

安定供給の取り組みとしては、水道未普及地域解消事業(百成大角間地区)・大沢簡易水道基幹改良事業等が、平成 25 年度において完了した。今後においても、漏水調査や漏水発見後の速やかなる対応・老朽管の更新や施設の耐震化・改良工事など、ライフラインとしての機能強化を計画的かつ効果的に実施され、無収水量の減少に引きつづき努められたい。

水道総事業収益は 8 億 5,463 万 3 千円で、前年度(8 億 6,310 万 3 千円)に比べ 847 万円(0.98%)の減少となった。一方、水道総事業費用は 8 億 6,784 万 3 千円で、前年度(8 億 7,158 万 7 千円)に比べ 374 万 4 千円(0.43%)の減少となり、収支差引 1,321 万円の純損失を計上している。

営業収益は 6 億 2,783 万 3 千円で、前年度(6 億 3,851 万円)に比べ 1,067 万 7 千円(1.67%)の減少となった。主に給水収益で上水道、簡易水道合わせて 6 億 2,574 万 8 千円となり、前年度(6 億 3,519 万 1 千円)に比べ 944 万 3 千円(1.49%)の減少となった。また営業外収益では、前年度に比べ 91 万 4 千円(0.41%)の増加となった。

営業費用は 7 億 2,513 万 3 千円で、前年度(7 億 2,187 万 6 千円)に比べ 325 万 7 千円(0.45%)の増加となった。また営業外費用では、前年度に比べ 7,001 万円(4.68%)の減少となった。

資本的収支は、総収入額で 2 億 9,657 万 4 千円、総支出額で 6 億 2,988 万 3 千円となっており、差引不足額の 3 億 3,330 万 9 千円については、過年度分損益勘定留保資金 3 億 3,074 万 9 千円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 2,560 万円でこれを補っている。

企業債については、未償還残高は 62 億 4,666 万 4 千円(財政融資資金 45 億 2,271 万 4 千円、地方公共団体金融機構 17 億 2,395 万円)で、前年度に比べ 3 億 677 万 8 千円の減少となった。

また、総収益に対する企業債償還額の割合が 44.48%(昨年度 43.61%)と高い比率を示しており、経営状況の厳しさが伺える。

企業の支払能力をみる流動比率は 1,578.21%(昨年度 1,484.49%)となっている。指数上は資金が潤沢にあるように見受けられるが、今後の企業債償還金及び配水池耐震診断、老朽

管の更新等で、多額の費用が予想されることから、今後の収支を見守る必要がある。

本市の普及率は89.29%であり、今後の、水道事業実施に当たっては、経済情勢の大きな回復が見込めない中で、少子・高齢化の進行に伴う給水人口の減少、節水型機器の普及など、大幅な需要増加は見込めず、給水収益の減少が懸念される。

一方、支出面では、水道施設簡易耐震調査、生活基盤近代化事業（町野地区）等の事業費用が見込まれる。独立採算性を原則とする水道事業では、健全な事業経営の確保が今後の課題となると予測される。

水道事業会計の未収金については、景気低迷等の影響を受け、収納状況が悪化している状況である。負担の公平、財源確保の見地からも料金徴収強化のための対策について努力を重ね、早期回収に努められるとともに、新たな未収金の発生防止に一層努力されたい。今後においては、将来の収支を踏まえ、計画的に事業の更新、再構築により、水の安定供給、災害対策、漏水防止対策、経営の効率化を図り、安全で良質な給水サービスの充実に努められたい。